

令和4年度 第3回教育委員会定例会

日時、場所及び出席者

日時及び場所	出席者	
令和4年6月9日(木)	教育長 欠席	教育総務課長 野村宏治
午後2時00分	教育委員 田原正人	学校教育課長 欠席
↓		
午後3時00分	教育委員 葛迫幸平	社会教育課長 港耕作
第2研修室	教育委員 田之上厚美	国体推進課長 米田昭嗣
	教育委員 欠席	

会議要旨

- 1 開 会
定刻、定足数に達しており、令和4年度第3回教育委員会定例会を開会した。
- 2 令和4年度第2回定例会会議録の承認について
承認
- 3 議 事
報告第15号 令和4年度垂水市一般会計補正予算(第2号)案についての
市長への意見申し出について
報告第16号 垂水市視聴覚ライブラリー運営委員の委嘱について
報告第17号 令和4年度 垂水市地域学校協働活動推進委員の委嘱について
報告第18号 垂水市青少年育成指導委員の委嘱について
- 4 その他
- 5 委員並びに教育長及び課長報告
- 6 閉 会

議 決 事 項

件 名	提案理由	審議の状況	採決の次第
<p>報告第15号 令和4年度一般会計補正予算（第2号）案についての市長への意見申し出について</p>	<p>令和4年度垂水市一般会計補正予算（第2号）案の作成について、教育長の臨時代理により差し支えない旨回答したこと、及びその内容について報告するものである。</p>	<p>特記事項なし</p>	
<p>報告第16号 垂水市視聴覚ライブラリー運営委員の委嘱について</p>	<p>垂水市視聴覚ライブラリー運営委員の委嘱について、教育長の臨時代理により決定したこと、及びその内容について報告するものである。</p>	<p>特記事項なし</p>	
<p>報告第17号 令和4年度 垂水市地域学校協働活動推進委員の委嘱について</p>	<p>令和4年度垂水市地域学校協働活動推進委員の委嘱について、教育長の臨時代理により決定したこと、及びその内容について報告するものである。</p>	<p>特記事項なし</p>	
<p>報告第18号 垂水市青少年育成指導委員の委嘱について</p>	<p>垂水市青少年育成指導委員の委嘱について、教育長の臨時代理により決定したこと、及びその内容について報告するものである。</p>	<p>特記事項なし</p>	

議 事 内 容 等

3 議 事	<p>報告第 15 号 令和 4 年度垂水市一般会計補正予算（第 2 号）案についての市長への意見申し出について</p>
教育総務課長	<p>令和 4 年度垂水市一般会計補正予算（第 2 号）案の作成について、教育長の臨時代理により、「差し支えない旨」回答したことを報告するとともに、その内容について説明。</p>
葛迫委員	<p>最近いろいろな物が値上がりして、その値上げ幅も凄いことになっているが、そのことで予算が膨らんでいくということはないのか。</p>
教育総務課長	<p>影響はあると思う。給食費についても、給食センターが各食材の値上げ率を調査し、平均で 10%位上がっているのではないかとということで、昨年の実績額の 1 割を今回の補正で要求した。実際このまま値上げが続いたら 1 割では足らなくなるかもしれない。</p>
葛迫委員	<p>そうなった場合はどうなるのか。また、後で要求するのか。</p>
教育総務課長	<p>国の補正予算が第二弾、第三弾と付けば、要求もできるが、そうでなければとりあえず今回で終わり。どうしても不足する場合は、一般財源を投入するのか、給食費を値上げするのかその時の状況によるが、とりあえず現段階の物価上昇分ということで今回要求するものである。要求しなければ、給食費の値上げをしなければならなくなるので、それを避ける為に今回要求するものである。また、今年はこれで凌げたとしても、来年は値上げせざるを得なくなるのではと懸念している。</p>
	<p>報告第 16 号 垂水市視聴覚ライブラリー運営委員の委嘱について</p>
社会教育課長	<p>垂水市視聴覚ライブラリー運営委員の委嘱について、教育長の臨時代理により決定したことを報告するとともに、その内容について説明。</p>
田之上委員	<p>1 号委員というのが、5 ページの 3（1）に当たり、2 号委員が 3（2）に当たるのか。また 3（3）はいないということでもいいのか。</p>
社会教育課長	<p>そのとおりである。</p>
田原委員	<p>以前からすれば人数も減っているのではないか。</p>
社会教育課長	<p>そうだと思う。設置条例第 5 条第 3 項に「委員 10 人以内をもって組織し、」とあり（3）学識経験者がいたことを考えれば、以前は今より人数が多かったと思われる。ちなみに、今回は新規が 3 人、再任用が 3 人である。</p>
	<p>報告第 17 号 令和 4 年度 垂水市地域学校協働活動推進委員の委嘱について</p>

社会教育課長	令和4年度垂水市地域学校協働活動推進委員の委嘱について、教育長の臨時代理により決定したことを報告するとともに、その内容について説明。
田原委員	この推進員というのは、以前の学校応援団で言えば、学校と団員を繋ぐコーディネーターのようなものか。
社会教育課長	そうである。
田原委員	ここに載っている人達は公民館の主事さんが多いが。
社会教育課長	そうである。主事さんが全体の半数近くおります。
葛迫委員	8番の方は社会教育課の人か。
社会教育課長	4月から会計年度任用職員として来てもらっている社会教育指導員である。
	報告第18号 垂水市青少年育成指導委員の委嘱について
社会教育課長	垂水市青少年育成指導委員の委嘱について、教育長の臨時代理により決定したことを報告するとともに、その内容について説明。
葛迫委員	今回、新しくなられた方は。
社会教育課長	4番、6番、11番、18番、23～26番、28～30番の方です。
田原委員	水之上も長いこと前の委員さんがされていたが、もう子供が高校生になるので交替しますということで、交替されました。だいたい、お子さんが小学校あるいは中学校にいるという保護者の方が委員をされるケースが多いです。
4 その他	なし
5 委員並びに教育長及び課長報告	委員並びに教育長及び課長報告に入る。
葛迫委員	「水之上小学校職員研修（絵画指導）について」 5月23日（月）の午後3時30分から水之上小学校で「絵画の指導法について」の職員研修を行った。内容は「基本的な絵画指導・人物や風景の描き方について」でした。まず、先生方の緊張を解し、リラックスさせよ

うと絵具を使つての演習から入った。「三原色の赤・黄・青を使つていろいろな色を作ってみましょう。」ということで、「赤」と「黄」を混色して橙を。「黄」と「青」を混色して緑を。「青」と「赤」を混色して紫を作った。これで、「赤」・「橙」・「黄」・「緑」・「青」・「紫」の6色の基本色が出来上がった。今度は6色の対にある色を混色してみようということで、「赤」と「緑」、「橙」と「青」、「黄」と「紫」をそれぞれ混色して、その色に白色を混ぜてみると、灰色っぽいグレー、茶色っぽいグレー、肌色にも使える黄土色っぽいグレーが出来上がり、先生たちも楽しく色づくりを経験することができた。その後は、児童の作品を観ながらその児童の制作上の想いや気持ちなどをくみ取りながらギャラリートークさながらの様子で進んでいった。先日、内之浦小学校で児童のスケッチ大会に参加したので、その時の様子を説明してみた。人物を描くときにどうしても絵が小さくなってしまふ子に担任の先生が、「最初に目から大きく描こうよ。」とアドバイス。怒った目、悲しい目、楽しい目。そうすると児童の人物画が大きくなったことを発見した。また、その日は曇り日と雨降ってきそうな日で、子供たちはタブレットで何枚も写真を撮影していて、どんな写真を使おうか迷い考えながら進めていったことを説明した。各学校によって指導法は違うと思うが、よいと思うところは取り入れてもいいのではと説明するところであった。

「垂水小学校学校訪問について」

6月7日(火)垂水小学校の学校訪問に参加した。本年度からの垂水小学校の研究テーマ「分かる喜び・考える楽しさ」を実感できる算数科学習指導の在り方について感じたことは、考えることの楽しさを知ること、学習への意欲が強くなることである。そうすることで全ての教科学習への問題解決になり、先生と児童のお互いが分かる喜びを共有できると思う。

今回の学校訪問では、子供たちに「考えさせる」行動を随所に見ることができた。このことを続けていくことで、子供たちの学習意欲が高められていくのではないかと思う。そして、学習意欲が高まっていくと、「分かる喜び」へと繋がっていく。また、「考えさせること」に対しての教師の役割などを見てみたが、「授業での抑揚」や「子供たちを授業に誘い込む姿勢」が至る所で見られた。これからの垂水小学校の形が楽しみである。

「垂水小学校学校訪問について」

田之上委員

今年度最初の学校訪問だった。落ち着いた雰囲気の中で元気に学ぶ子供たちの様子を見ることができた。最初に、校長先生より学校経営・学習指導等について説明を受けた後、授業参観をさせて頂いた。子供たちは、楽しそうに、そして真面目に授業を受けているようだった。授業は、先生方の持ち味が発揮され工夫されているようだった。タブレットの活用も、昨年よりスムーズに行われているように思われた。

「吹奏楽特別コンサートについて」

今年度も行進曲コンクールが実施できなくて残念であったが、市内の吹奏楽に関わる小学生から一般の方々によるコンサートが開催できたこと

は、よいことだと思った。それぞれの団体が行進曲、得意とする曲、また夏のコンクール用の曲など思いを持って素晴らしい演奏をしていただいた。垂水小学校金管バンド、垂水中央中学校吹奏楽部ともに、豊かな音量で普段から練習を頑張っている様子が分かるようであった。新入部員を迎え、これから夏のコンクールに向けてますます頑張りたいと思った。

また、垂水高等学校吹奏楽部・垂水吹奏楽団の方々も、普段様々な分野で働きながら、こつこつと練習を続けられていることに敬意を表します。ますます、音楽の輪が広がっていくことを願っている。当日は、休日にも関わらず多くの職員の方に携わっていただき、存分に演奏を楽しむことができた。

「6月7日（火）垂水小学校学校訪問」

田原委員

コロナ禍のために2年余り、学校訪問もなく学校行事にも参加できなかったのが、久々の学校訪問でワクワクした。1校時は校長先生の丁寧な経営説明に続き、いつもと違う順番で質問したので、時間配分が難しかった。4人はそれぞれ聞きたかったことを質問し、教頭先生が的確に答えてくださった。2・3校時、全ての教室の授業を参観した。1学級3～4分の参観で、折角見どころの所で次の教室に行かなくてはならないので、丁寧な指導案を書いてくださっている先生方に申し訳ない気がした。それでも参観した授業の一部から今後授業がどう進められていくかが終末を予想することができた。全体として、児童の表情が明るくどの子も授業に真剣に取り組んでいる姿が見られた。研究の成果なのか、一人学び、ペアやグループ、全体へと活動や話し合いが進められる学習スタイルは、学校全体統一して取り組まれていることが分かった。タブレットや電子黒板など特別支援学級でも使われていたし、半数以上の学級で使われ、効果的な場面での活用に努力されていた。算数科の専科の先生の指導や算数科の少人数指導など子供たちがよく理解できるのか、楽しく学んでいた。また、特別支援学級の指導の充実と児童一人一人が明るく真剣に学習に取り組んでいる姿にも感心した。一人の児童に対してここまで達成させたいという目標が立てられた丁寧な指導案が準備されていたが、まさにその目標どおりの指導過程で進められていた。先生と児童との人間関係が良好で明るい会話のある授業で幸せな気分になれる授業であった。久しぶりの学校訪問、子供たちの楽しく学ぶ姿に接することができて、幸せな半日であった。

社会教育課長
国体推進課長

5月10日から6月9日までの主な行事等について各課長が報告。併せて、6月10日から7月11日までの行事予定についてお知らせした。

6 閉 会